

令和7年度「ちっちゃい探検隊（夏の特別企画）」実施報告書

I 事業の概要

1. 期 日 令和7年7月5日(土)～6日(日) 泊2日
2. ねらい
 - 低年齢の子どもたちが親元を離れて宿泊体験することで、次のような力をつける。
 - ・親元を離れ、大自然の中で仲間と生活することを通して、自分で行動する自信をつける。
 - ・班の中で自分の意見を言えたり、友だちの意見を聞いたりすることができる。
 - ・友だちと力を合わせることを楽しいと感じることができる。
3. 参加対象 小学校1～3年生
4. 応募者 102名
5. 参加者 33名（大学生ボランティア 13名）
6. 参加費 2,400円
7. 日 程



7月5日(土)		7月6日(日)	
13:00	受付	6:30	起床
13:30	出合いのつどい	7:00	朝のつどい
14:00	楽しいゲームで仲良くなろう!(レクリエーション)	7:30	掃除
15:00	色の源を取り戻せ! ~七色の戦士たち~	8:00	朝食
16:45	オリエンテーション	9:00	荷物整理・退所点検
17:30	夕食	9:20	伝説の言葉でやっつける!
19:00	輝け!!レンジャーペンダントで大変身(クラフト)	10:00	わくわくOOOパーティー(昼食)
20:00	入浴	13:00	片付け・感想記入
21:30	就寝	14:00	別れのつどい
		14:30	解散

II 実施状況

■1日目の活動の様子<7月5日(土)天候 晴れ>

学生サポーターとの打ち合わせをしっかりと確保するため、午後からの開催となった。緊張した面持ちで集まった子どもたちを学生サポーターが優しく迎え入れてくれた。交流レクで参加者同士の距離がぐっと縮まった後、赤レンジャーの登場。ブラックジョッカーから赤レンジャー以外のレンジャーの色を取り戻すため、野外オリエンタリングに出発。色の源を集めるため、どの班の子も力を合わせてミッションに取り組んだ。

夕食後は虹レンジャーになるための証であるペンダント作り。学生サポーターの声



掛けにより、個性豊かなペンダントが完成した。明日は、色の源とペンダント使って、ブラックジョッカーから奪われた色を取り戻すことを確認して1日目を終えた。

■2日目の活動の様子<7月6日(日)天候 晴れ>

2日目の朝、体調不良者はなく全員元気一杯でスタートした。朝食後は、色の源とペンダントを使って、まずは4人のレンジャーの色を取り戻していく。レンジャーが次々と色を取り戻す。5人のレンジャーがそろって、もう一度、ブラックジョッカーとの戦い。子どもたちもペンダントを使って応援を送り、見事にブラックジョッカーをやっつけることができた。

協力してくれたお礼に、皆でカレーパーティーを行った。暑い中ではあったが、参加者たちは、学生サポーターに任せきりならず、ジャガイモや人参の皮むきなど自分ができることを行い、おいしいカレーライスを作ることができた。

別れのつどいでは、各班の代表者と全学生サポーターが感想を発表した。職員と学生サポーターで参加者や保護者の方を見送り、あっという間に1泊2日の日程を終えることができた。

総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ わたしが一番心に残っていることはカレーライス作りです。初めて包丁でいろんなものが切れてうれしかったです。今まで食べたカレーの中で一番おいしかったです。
- ・ 色のみなもとをとりもどせでは、UFO キャッチャーでボールを移動させるのが難しかったです。スラックラインはバランスをとるのが難しかったです。ジャイアントシーソーはクリアできなかったのもまた挑戦したいです。
- ・ みんなと一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったり、布団の中でお話したのが楽しかったです。最初はドキドキしていたけど、今はみんなと別れるのがさみしいです。

2. 成果

- ・ 開始時間を午後からにすることで、午前中に学生サポーターと配慮児童について確認したり、レンジャーのセリフを覚えたりするなど、打合せの時間をしっかりと確保することができた。
- ・ 今回は2年前に行ったレンジャー企画を更にブラッシュアップして行った。新たに企画を作るとなると指導員の負担も大きくなるが過去の企画を見直し、活用することで指導員の負担軽減につながり、参加者にも概ね満足していただけた。

3. 課題

- ・ 野外炊飯時に熱中症の疑いの学生が1名出てしまった。今回、火気を扱うかまどの作業は子どもたちではなく、学生サポーターに任せたが適切な役割分担や熱中症への注意喚起を促す必要があった。また、夜の情報交換を極力短くし、十分に睡眠をとるなど体調面に気を配る必要があると感じた。

